

済生会滋賀県病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (倫理委員会受付番号)	脳卒中の医療体制の整備のための研究 「レセプト等情報を用いた脳卒中救急疫学調査」 (No.401)
当院の研究責任者	脳神経外科 部長 岡英輝
他の研究機関および各施設の 研究責任者	【研究責任者】 九州大学大学院医学研究院脳神経外科分野 教授 飯原弘二 【研究分担者】 九州大学大学院医学研究院病態機能内科学 教授 北園孝成 九州大学病院脳神経外科 助教 有村公一 九州大学病院脳神経外科 助教 西村中
本研究の目的	超高齢化社会の本邦において、後遺障害による寝たきりの原因となる脳卒中の救急治療は大きな課題となっています。高齢者医療費の最大の原因である脳卒中の患者数は今後も更に増加し、2020年には300万人に達すると予想されています。緊急性の高い脳卒中治療については、医療機関の集約化、広域化と連携強化が重要となりますが、地域特性に応じた整備の為に、全国的な規模での地域毎の実態を調査することが必要です。 本研究では本邦の脳卒中施設の施設情報と、診療の質的評価・治療成績・予後との関連を調査し、その適正な配置について提言を行うことが目的です。
調査データ該当期間	2017年4月1日～2021年3月31日
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者様 2017年4月1日から2021年3月31日に、全国の脳卒中を診療している施設において、脳卒中に関連する疾患で治療した患者さん ●利用する情報 電子レセプトデータ、DPC データを利用する。 ●取得する情報 ①DPCファイル上、主傷病名、入院の契機となった傷病名、もしくはレセプト電算ファイル上の傷病名に脳卒中の診療に関連する病名の少なくとも一つを含みます。 1.脳梗塞

	<p>(ア)I63.0脳実質外動脈の血栓症による脳梗塞</p> <p>(イ)I63.1脳実質外動脈の塞栓症による脳梗塞</p> <p>(ウ)I63.2脳実質外動脈の詳細不明の閉塞又は狭窄による脳梗塞</p> <p>(エ)I63.3脳動脈の血栓症による脳梗塞</p> <p>(オ)I63.4脳動脈の塞栓症による脳梗塞</p> <p>(カ)I63.5脳動脈の詳細不明の閉塞又は狭窄による脳梗塞</p> <p>(キ)I63.6脳静脈血栓症による脳梗塞，非化膿性</p> <p>(ク)I63.8その他の脳梗塞</p> <p>(ケ)I63.9脳梗塞，詳細不明</p> <p>2.非外傷性脳内血腫</p> <p>(ア)I62.0硬膜下出血(急性)(非外傷性)</p> <p>(イ)I62.1非外傷性硬膜外出血</p> <p>(ウ)I62.9頭蓋内出血(非外傷性)，詳細不明</p> <p>(エ)I61.0-61.9（脳内出血）</p> <p>3.クモ膜下出血</p> <p>(ア)I60.0頸動脈サイフォン及び頸動脈分岐部からのくも膜下出血</p> <p>(イ)I60.1中大脳動脈からのくも膜下出血</p> <p>(ウ)I60.2前交通動脈からのくも膜下出血</p> <p>(エ)I60.3後交通動脈からのくも膜下出血</p> <p>(オ)I60.4脳底動脈からのくも膜下出血</p> <p>(カ)I60.5椎骨動脈からのくも膜下出血</p> <p>(キ)I60.6 その他の頭蓋内動脈からのくも膜下出血</p> <p>(ク)I60.7頭蓋内動脈からのくも膜下出血，詳細不明</p> <p>(ケ)I60.8その他のくも膜下出血</p> <p>(コ)I60.9くも膜下出血，詳細不明</p> <p>4.一過性脳虚血発作G45</p> <p>(ア)G45.0 椎骨脳底動脈症候群</p> <p>(イ)G45.1 頸動脈症候群(半球性)</p> <p>(ウ)G45.2 多発性及び両側性脳(実質)外動脈症候群</p> <p>(エ)G45.3 一過性黒内障</p> <p>(オ)G45.4 一過性全健忘</p> <p>(カ)G45.8 その他の一過性脳虚血発作及び関連症候群</p> <p>(キ)G45.9 一過性脳虚血発作，詳細不明</p> <p>5.もやもや病I675</p> <p>6.未破裂脳動脈瘤</p> <p>(ア)I671脳動脈瘤、非（未）破裂性</p> <p>(イ)Q282脳血管の動静脈奇形</p> <p>(ウ)Q283脳血管のその他の奇形</p>
--	--

	<p>②ここでは、脳卒中に関連した診療行為を、例として示す。</p> <p>t-PA静注療法</p> <p>減圧開頭術</p> <p>経皮的脳血管形成術</p> <p>経皮的選択的脳血栓・血栓溶解術</p> <p>動脈血栓内膜摘出術（内頸動脈）</p> <p>経皮的頸動脈ステント留置術</p> <p>頭蓋内動脈吻合術</p> <p>脳新生血管造成術</p> <p>頭蓋内血腫摘出術（脳内、硬膜内）</p> <p>定位的脳内血腫除去術</p> <p>脳動脈瘤流入血管クリッピング</p> <p>脳動脈瘤頸部クリッピング</p> <p>脳血管内手術</p> <p>穿頭脳室ドレナージ</p> <p>穿頭術（トレパナチオン）</p> <p>脳血管血栓摘出術</p> <p>脳血管血栓摘出術</p> <p>脳動静脈奇形摘出術</p> <p>脳動脈瘤被包術</p> <p>脳新生血管造成術</p> <p>頭蓋内血腫除去術（開頭）</p> <p>四肢の血管拡張術・血栓除去術</p>
試料/情報の他の研究機関への提供及び提供方法	<p>上記情報を匿名化処理後、暗号化されたデータ通信（SSL/TLS）もしくは、CD-ROM等の電子記憶媒体に保存した後にレターパック等の追跡可能な配送方法によって研究事務局（九州大学大学院医学研究院脳神経外科）へ提供する。</p>
個人情報の取り扱い	<p>あなたのカルテの情報をこの研究に使用する際には、あなたのお名前の代わりに研究用の番号を付けて取り扱います。あなたと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、九州大学大学院医学研究院脳神経外科学分野内のインターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、同分野の職員によって入室が管理されており、第三者が立ち入ることはできません。また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、あなたが特定できる情報を使用することはありません。この研究によって取得した個人情報は、九州大学大学院医学研究院脳神経外科学分野・教授・飯原弘二の責任の下、厳重な管理を行います。</p>

<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>本研究に要する経費は厚生労働科学研究費循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業(H28-循環器等-一般-011)「脳卒中の医療体制の整備のための研究」(研究代表者飯原弘二)、科学研究費助成事業(基盤研究(B)(一般)課題番号18H02914)「脳卒中のLearning Healthcare Systemに関する研究」(研究代表者飯原弘二)、環境研究総合推進費(1-1905)「気候変動の暑熱と高齢化社会の脆弱性に対する健康と環境の好循環の政策」(研究代表者西村邦宏)で負担する。</p> <p>利益相反はない。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>この研究に関してご質問や相談等ある場合は、事務局までご連絡ください。</p> <p>事務局(相談窓口)</p> <p>担当者:九州大学病院脳神経外科 助教 西村 中</p> <p>連絡先:〔TEL〕092-642-5524(内線2290)</p> <p>〔FAX〕092-642-5526</p> <p>メールアドレス: nataru@ns.med.kyushu-u.ac.jp</p> <p>【当院の問い合わせ先】</p> <p>電話番号:077-552-1221(病院代表)</p> <p>所属・職名:脳神経外科・部長</p> <p>担当者氏名:岡英輝</p>
<p>備考</p>	